

授業科目

日常生活活動学

担当教員名 貝淵 正人	対象学年	2	対象学科	作業
	開講時期	後期	必修・選択	必修
	単位数	2	時間数	30

ディプロマポリシーとの関連性

知識・理解	思考・判断	関心・意欲	態度	技能・表現
◎	○	◎	◎	◎

授業の概要

作業療法の中でもとても重要な日常生活活動を学びます。
健常者の基本動作から、食事や排泄などのセルフケアをどのように運動しているのかを観察します。
作業療法士はどのように日常生活を観察しているのかを学習します。

授業の目的

人間の日常生活の基本として遂行される食事、排泄、整容、更衣、移動などの動作遂行に必要な条件を理解し、日常生活活動（ADL）および生活関連活動（IADL）に関連する基礎的・応用的知識について修得する。

学習目標

1. ADLの概念について説明できる。
2. 基本動作の特徴を分析することができる。
3. 代表的疾患に特有なADL評価を説明でき、プログラムを立案施行できる。
4. 健常者のADLの動作を模倣・説明することができる。

授業計画

回数	授業計画・学習の主題	学習方法・学習課題・備考	担当教員
1	ADLとは。ADL評価とは	講義	貝淵 正人
2	姿勢・起居動作	講義	貝淵 正人
3	起居・移乗動作	講義	貝淵 正人
4	起居・移乗動作	講義	貝淵 正人
5	起居・移乗・移動動作	講義	貝淵 正人
6	食事動作	講義	貝淵 正人
7	衣服着脱動作	講義	貝淵 正人
8	整容動作	講義	貝淵 正人 他
9	排泄動作	講義	貝淵 正人 他
10	入浴動作	講義	貝淵 正人 他
11	生活関連活動	講義	貝淵 正人
12	片麻痺者のADL	講義	貝淵 正人 他
13	片麻痺者のADL	講義	貝淵 正人 他
14	大腿骨頸部骨折患者のADL	講義	貝淵 正人 他
15	大腿骨頸部骨折患者のADL	講義	貝淵 正人 他

使用図書

使用図書	書名	著者名	発行所	発行年	価格	その他
教科書	姿勢・動作・歩行分析	臨床歩行分析研究会	羊土社	2015年	5,000円+税	
参考書	イラストわかりやすい移動のしかた 第4版	井口恭一	三輪書店	2015年	3,024円	
	動作分析 臨床活用講座	石井慎一郎	メディカルビュー社	2013年	5,600円+税	
その他の資料	プリント					

評価方法

期末試験を評価とします。

履修上の留意点

動きやすい服装で臨むこと。
実際のクライアントと接する際には真摯な態度で臨むこと。

オフィスアワー・連絡先

貝淵
火、木の14時～17時。
kaifuti@nuhw.ac.jp